

『復興県土づくりシンポジウム・東北復興フォーラム in 岩手』を開催しました！

～本格復興へ向け 応援職員が復興を熱く語る～

**県土整備企画室
建設技術振興課**

平成26年2月6日から7日の2日間、東日本大震災津波からの復旧・復興現場における取組事例の発表等を通じて、復興の現状や課題を共有し、広く県内外に情報発信することを目的に、盛岡市において『復興県土づくりシンポジウム・東北復興フォーラム in 岩手』を開催しました。

本シンポジウムでは、他府県からの応援職員等が岩手県での取組内容を発表したほか、被災3県の現状報告、応援職員によるトークセッションを行いました。

当日は応援職員を派遣いただいている派遣元の都府県の職員をはじめ約250名が参加し、立見が出るほどの盛況で、参加者は応援職員の復興への熱い思いに触れ、本格復興へ向けて思いを新たにしました。

初日の様子をご紹介します。



応援職員による取組発表

各都府県から岩手県に派遣されている応援職員8人が、県内での住宅復興の取組や河川・海岸の災害復旧・津波対策施設の復旧など、土木技術を中心に発表を行いました。

このうち、静岡県の派遣職員である建築住宅課の山口主査からは、岩手県での住宅復興の取組経験を踏まえて、今後静岡県が災害に備え準備しておくべきこととして、用地対策として応急仮設住宅を2階建にするなど、いくつかの提案がなされました。

大船渡土木センターの富山主査、川端技師、上田技師（大阪府派遣）からは、「復興事業への戸惑いと取組課題について」と題し、大阪府との言葉や業務の仕組みの違いなどをユーモアを交えて紹介しながら、携わる道路整備事業の状況や課題について語っていただきました。

また、地域への支援として、大阪府の高校生を招き地元との交流活動を行うなど、業務以外の活動なども熱く語っていただきました。



建築住宅課 山口主査(静岡県)



沿岸土木 八木主査(静岡県)



沿岸土木 岩本技師(東京都)



大船渡土木 川端技師, 上田技師, 富山主査 (大阪府)



大船渡土木 中島技師, 石本主任 (大阪府)

講演「被災3県の復興の取組と課題について」

今年度は、昨年度から被災3県で順次開催している東北復興フォーラムとして、被災3県の復興の進捗や課題について各県の土木部長等が講演を行いました。

宮城県土木部の遠藤部長からは、復興まちづくり事業について、具体事例を紹介しながら説明が行われたほか、岩手県と同様、施工確保やマンパワー不足などの課題に向けた取組みについて説明がありました。福島県土木部の渡辺部長からは、被災直後の放射線への対応の緊迫した様子や浜通りの復旧・復興の状況について説明が行われました。



岩手県 佐藤県土整備部長



宮城県 遠藤土木部長



福島県 渡辺土木部長

応援職員によるトークセッション ～助っ人たちが語る岩手・復興への熱い思い～

現在岩手県に派遣中の応援職員3名と平成24年度に派遣されていた元応援職員3名に参加いただき、トークセッションを行いました。タレントのふじポンさんを司会進行に、派遣のきっかけや岩手での生活・思い出を紹介いただいたほか、復興への取組や課題について熱く語っていただきました。

このうち、建築住宅課で災害公営住宅を担当する高橋技師(川崎市派遣)からは、建設用地が少なく苦労している点などが語られたほか、元応援職員の愛知県の松浦主査からは、震災の記憶の風化への懸念や復興の現状を伝えることの意義などが語られました。

一緒に登壇した佐藤県土整備部長は、「応援職員の活躍は心強い。復興は緒に就いたばかり。歴史を刻む仕事をともに一緒に頑張りたい。」と話しました。



建築住宅課 高橋技師 (川崎市)



宮古土木センター 福澤主査 (長野県)



大船渡土木センター 八尾主査 (大阪府)



静岡県 山本主査



愛知県 松浦主査



大阪府 伊藤主査

